



大学の近況

7月1~2日、文化祭を開催!今年の文化祭は一味違う!

文化会本部 本部長 小西 達也

今年も文化会本部主催の文化祭が八尾プリズムホールにて盛大に開催され、本学の学生を中心に130名近い参加をえることができました。

初日は、音楽系クラブのライブを地下1階の小ホールにて行い、年に数回しかない合同イベントの中でお互いのクラブの実力を遺憾なく発揮していました。そして、最後の2バンドは、合同バンドでのライブとなり、1組目の小岩井オレンジは、文化会という枠組みを越えていました。体育会からチアリーダー部をゲストとして招き、文化会の音楽系からも女性を呼び、コーラス兼ダンサーとして参加してもらった

どの趣向を凝らしたものです。大盛況のうち初日のライブを終えることができました。

2日目は、展示系クラブによる展示祭イベントを行いました。各部共にクラブの個性を十分に発揮しました。特に模型研究会は、モデルズコンテストと題し、模型研究会クラブ員以外の学生たちが製作したプラモデルを展示し、投票をしてもらい13位までの順位を決めるという、新しい企画を行いました。結果は1位が小西達也(軽音楽部・文化会本部)2位小倉輝之(軽音楽部・文化会本部)3位平川祐介(吹奏楽部)でした。

今年の文化祭では、音楽系、展示系の各クラブがお互いに趣向をこらし、新しい事に取り



組むことができたとします。これからの文化会本部、そして文化会クラブに期待してください。更なる飛躍を目指したいと思います。

最後になりましたが、文化祭を開催するにあたって、御協力頂いた関係者の皆様、そして何よりお越し頂いたお客様に厚くお礼申し上げます。

文部科学省大臣杯 / 第40回

全日本大学ソフトボール選手権大会出場!
14年連続15回目
全国ベスト8

大阪経済法科大学 体育会ソフトボール部 主将 安井 健

私たち体育会ソフトボール部は、5月に行われた近畿地区予選を勝ち抜き、9月2日(金)から5日(月)にかけて群馬県安中市で行われた第40回全日本大学ソフトボール選手権大会に近畿地区代表として出場を果たすことができました。

今年のチームは、投手を中心とした守りのチームなので、守備にはかなりの自信を持っています。打撃陣にも、俊足、好打の選手が多く、他大学のメンバーと比べても引けはとらないと思います。

選手権大会では、少ないチャンスを確実に生かし、チームワークと自慢の守備で、全国ベスト8という成績を残せました。今後とも日々の練習に真摯に取り組んでいきたいと思いますので、ご協力・ご支援のほどよろしくお願い致します。



卓球部	関西学生卓球連盟春季リーグ戦 ・男子1部 3勝2敗 4位 ・女子1部 0勝6敗 6位、入替戦の結果1部残留
ソフトボール部	関西学生ソフトボール連盟春季リーグ戦1部 4位
空手道部	西日本大学空手道選手権大会 ・男子団体組み手ベスト8 ・女子団体組み手ベスト8 関西学生空手道個人選手権大会 ・女子組み手60kg以下3位(木部 法学部4年) ・ " 60kg超級3位(中村 法学部1年) ・ 優秀選手賞受賞(木村 法学部4年) ・ " (白井 法学部3年) ・ " (竹平 法学部3年)
バスケットボール部	関西学生バスケットボール新人戦 2回戦敗退 西日本学生バスケットボール選手権大会 3回戦敗退 関西学生バスケットボール選手権大会 3回戦敗退 関西学生バスケットボール春季強化リーグ戦 1勝8敗 第31回西日本バレーボール大学男子選手権大会 決勝トーナメント、2回戦敗退
バレーボール部	関西女子大学バレーボール連盟春季リーグ戦 ・男子2部 2勝5敗 順位決定戦2勝1敗 ・女子4部 0勝7敗 5部降格
アーチェリー部	関西学生アーチェリー連盟リーグ戦 ・男子2部 2勝1敗 ・女子2部 1勝2敗
硬式野球部	阪神大学野球連盟春季リーグ戦 2部 5勝7敗 4位 ベストナイン3名受賞 阪神大学野球連盟新人戦 1回戦敗退
剣道部	大阪学生剣道新人大会 団体3位 敢闘賞受賞(前嶋 経済学部2年) 関西学生剣道選手権大会 3回戦敗退 大阪学生剣道選手権大会 優秀選手賞受賞(永田 法学部4年)
サッカー部	関西学生サッカー連盟春季リーグ戦 2部Bブロック 8位
体操競技部	西日本学生体操選手権大会 松田(法学部4年)67位、全日本学生選手権出場権獲得 関西学生体操選手権大会 3名出場、最高順位44位
バドミントン	関西学生バドミントン選手権大会 3回戦敗退 関西学生バドミントン連盟春季リーグ戦 4部 4勝1敗 2位、入替戦進出3部昇格
陸上競技部	関西学生陸上球技対抗選手権大会 ・走高跳2位(下總 経済学部1年) ・円盤投げ6位(外山 経済学部3年)

2005年度春期の課外活動(戦績)について

校友会報

No.10

大阪経済法科大学・校友会報・10号
Eメールアドレス:kouyu@keiho-u.ac.jp
編集 / 大阪経済法科大学校友会事務局
〒581-8511
大阪府八尾市楽音寺6丁目10番地
TEL・FAX 0729-41-8268

校友会報・10号 2005年9月30日発行

CONTENTS

- 第7回総会報告
- 懇親パーティー報告
- 2004年度校友会事業報告
- 2005年度校友会事業計画
- 校友会NOW
- 事務局だより
- 大学の近況

大阪経済法科大学 オープンキャンパス
丸山和也弁護士講演
「法は人生の力強い味方だ」



第7回総会報告



第7回大阪経済法科大学 校友会総会会長挨拶要旨



そして、先ほどお話ししました、幾つかの大学が経営難に直面している時代に、校友会が母校に何ができるのか、どのような協力ができるのかということについても考える必要があるのではないかと思います。それは、母校に物申す校友会になる必要はないと思いますが、何らかの形で学校運営に協力が

できれば、また卒業生の輪を更に広げることが出来ればと思います。と言いますのは、ある大学の民事再生法申請の新聞記事に書いていましたが、母校が無くなるというのは、皆さんは経験の無いことですが、母校が無くなった時、卒業証明書は何処でもらうだろう?という現実的な問

全国から校友が集い、第7回校友会総会開催さる

梅雨明け前の大阪は連日の晴天が続き、7月16日(土)は34度を超える真夏日となった。その酷暑の中、全国から昨年度を上回る約150名の校友・教職員・在学生がホテルニューオータニに集まった。

齊藤公晴常任幹事の司会のもと、午後4時に開会した校友会総会では、冒頭、伴井敬司校友会会長から大略次のような挨拶が述べられた。

2005年6月4日開催の校友会幹事会で第4期校友会会長に選出された。

大変な名誉であり、責任の重大さを痛感している。

これまでの3期6年間、校友会会長として幹事とともに校友会の基盤づくりに邁進してきた。

全国に9つの支部を立ち上げ、校友会奨学金、経法祭参加企画、卒業生祝賀会等の活動を通じて、校友の親睦と連携を深め、母校の発展に寄与してきた。

本日は多数の校友会会員がこの場に参席いただいているが、今後ますます校友会を発展させ、多くの会員が校友会に参加するよう努力していきたい。

つづいて、藤本和貴夫学長から挨拶を兼ねて、大学の近況並びに今後の大学の方向性についてパワーポイントを使用した報告があった。(学長挨拶要旨参照)

つづいて、議事に入り、北垣義弘常任幹事より「2004年度事業報告及び収支決算書について」、「2005年度事業計画及び収支予算書について」の詳細な報告が行われた。その後、阪本誠常任幹事より、6月4日開催の幹事会で承認された伴井敬司会長以下58人の第4期校友会役員について報告があった。さらに、総会に参加した沖繩、広島、香川、岡山、石川の5支部の役員から、各支部の活動状況について報告が行われた。

最後に、安田公治校友会副会長から閉会の挨拶があり、午後5時、第7回校友会総会は無事閉会した。

本日は第7回校友会総会にご出席いただき有り難うございます。校友会幹事会を代表いたしましてご挨拶を申し上げます。

先ず、先日開催されました校友会幹事会において第4期校友会会長に選出されました。これは大変な名誉なことであると同時に責任の重大さを痛感しています。これまでの3期6年間は、校友会会長として幹事とともに校友会の基盤づくりに邁進してきました。全国に9つの支部を立ち上げ、校友会奨学金、経法祭参加企画、卒業生祝賀会等の活動を通じて、校友の親睦と連携を深め、母校の発展に寄与してきました。本日は多数の校友会会員に参席していただいておりますが、今後ますます校友会を発展させ、多くの校友会会員が校友会に参加するよう努力していきたいと思

います。さて、最近、関心のある出来事がありました。それは、少子化社会の中で、定員割れの大学が増え、大学経営で初めて民事再生法を申請した大学が現実のものになったことです。大学を取り巻く状況が厳しくなる中、校友会は、母校に対して何ができるのかということも含めて、原点に立ち返って、校友会の運営について考える必要があるのではないかと感じています。そのためにも、本日の総会で皆さんの忌憚のないご意見を頂きたいと願っています。

私は、先日、在学生の父母・保護者で組織されています「大阪経済法科大学教育後援会」の総会に招かれ、お話しする機会がありました。そこで、好きなテレビ番組の中で語られる言葉を紹介いたしました。それは、「出会いを人を変え、時は人を育てる」という言葉です。まさにそれが校友会にとっても、それぞれの人生にとっても大切なものではないかと思っております。人と出会う事、出会う人の多さというものが、その人の「人」としての大きさに繋がっていくのではないかと思います。経法大の卒業生であるという共通項で校友会に積極的に参加され、世代を越えて色々な方とお付き合いをして頂くということが、経法大の校友にとって非常に役に立つのではないかと、また役に立つための校友会にしたいと思っております。

支部役員挨拶

栢田博昭広島支部長



ご紹介頂きました広島支部長を務めております栢田でございます。広島支部は、1999年10月に全国で最初に結成した支部で

約1500名の校友がいます。広島支部のこの5年間は、総会や役員会を中心に支部活動を行って参りました。本年度も総会と役員会を中心としながらも役員会において支部活動の充実に向けた意見交換を行い、積極的な支部活動を行いたいと考えています。また、校友会は、支部活動が土台となって発展していくと思っております。今後は、支部間の交流という観点からも、ブロック単位での校友会支部活動の企画等を検討しご提案させていただきながら、支部活動を行っていきたく思っております。

具志堅充彦沖繩支部長



沖繩支部の具志堅です。沖繩支部の活動をこの報告させていただきます。沖繩支部は役員会と支部総会の2本柱の集まりが基本的な活動となっております。今年3月に開催しました総会には、現役の学生にも参加案内を行い、5名の後輩達に参加して頂き、卒

題が実際起こるわけです。母校が無くなるということは、私達が思っているほど簡単なことではないのではないかと、その新聞記事に触れ感じました。

大学を通じて、経法大の卒業生を通じて、色々な活動をする中で、大学に何らかの形で卒業してからも寄与するということは喜ばしい事だと思います。それが校友会というこの会を通じて、お互いがより輪を広げ、人間として成長していける場として校友会を活用していただき、そして母校に何らかの貢献ができればと思います。

私は、今期で会長を4期務めることになりました。校友会設立時から会長職を引き受けさせていただいていますが、しっかりと組織作りを行い、次の世代に引き継いで行きたいと思っています。是非、多くの方が校友会活動へ積極的に参加され、本日の総会の場、または校友会事務局への直通電話で、積極的なご意見を頂きますようお願いし、私の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございます。

業生と在学生を結び契機になったと考えています。また、私たち支部役員も年内に支部独自の事務局を立ち上げて、支部独自の活動を充実させるための体制を作ろうと、今話し合いをしている最中です。次回の総会では、事務局の活動についても報告することができると思っています。

やはり、校友会発展のためには、大学、校友会本部、各支部の連携と協力が必要ですので、そのためにも沖繩支部は努力していきますので、ご支援くださるようお願いし、支部の報告とさせていただきます。

石塚央香川支部長



香川支部の石塚と申します。香川支部は、校友会が創立された同じ年に設立され、卒業生も約600名程います。現在は支部の行事へ

一人でも多くの校友が参加できるよう努力しております。

香川支部は、「誰でも気軽に参加でき、みんなの力で支部を作って行こう」をモットーにしています。したがって、設立当初から支部総会には、卒業生のお父さんが参加されたり、最近では在校生が毎回出席しています。多くの在校生に出席していただくためにも、夏休み、あるいは冬休み、春休みの時期を活用し、支部総会を開催することを基本的な考えとしています。在校生と校友会とのつながりを大切にすることは、何よりも先輩として後輩に対して役に立ちたいという想いと、そのつながりを通じて将来の香川支部の活動を担う後輩を育てるといふ目標があります。また、香川支部は、女性も幹事として名を連ねており、和気藹々

藤本和貴夫学長挨拶要旨 - 大阪経済法科大学の今 -



本日は第7回総会おめでとうございます。皆様の中には、既に卒業されてから30年以上の方も、それから昨年卒業された方もいらっしゃると思いますが、現在の大阪経済法科大学はどのようになっているのかについて、今日は簡単にお話してご理解いただければと思います。大阪経済法科

大学は1971年の創設以来、およそ3万5千人の卒業生の皆さんを世の中に送り出し、いまや中堅大学としての地位を固めております。

大学の現況について教育を中心として申し上げますと、学生の将来の進路や関心、職業選択に配慮した教育プログラムの整備にこれまで力を注いできましたが、この点を一層充実するため、コース制の導入に踏み切りました。法学部は2003年度より、「法曹コース」、「公務員コース」、「企業人コース」、「生活環境コース」の4つのコース制を取り入れ、学生は2年次よりいずれかのコースを選択することで、自己の将来設計をより明確に意識するようになります。すでに現在、3年生がそれぞれのコース選択の上になった勉学に励んでおり、近くその成果が期待できるものと考えております。

と活動ができる支部を今後とも目指したいと考えています。

まだまだ足りない支部ですが、皆様のご協力を得まして、より良い支部をつくっていきたく思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

常井暁岡山支部副支部長



岡山支部副支部長を務めさせていただきます。19期生の常井と申します。岡山支部は、総会を年1回開催しています。それと支部役員会を年3回程度行っています。あれこれと理由をつけて経法大卒業生の仲間同士で飲んでワイワイやっているのですが、そこでは、経法大のために岡山支部がどうあるべきかを語り合っています。

本日の総会には、在学生の方も参加されていますが、「経法大が大好きだ」と自信を持って言える在学生の方は何人いらっしゃいますか?何故こういう質問をしたかと言いますと、本日の総会参加者は、経法大卒業生として愛校心を持った卒業生の方々だと思います。在学生の方も、この卒業生の熱い思いを受けて、経法大を自信を持って語れるような人間になって頂きたいと考えています。そうでなければ、この校友会も衰退していくのではないかと思っています。

一方で、岡山支部としましても、在学生の皆さんや卒業生の皆さんに何ができるのかを考えています。その方向性としては、岡山出身者の在学生の就職相談窓口であったり、社会人になって人間関係が難しい場合の相談窓口、世代を越えて経法大の卒業生がお付き合いできる環境づくり等です。そのための準備を進めています。

在学生の皆さんが頑張れば卒業生も頑張れる。逆に卒業生が頑張れば在学生も頑張れる、といった関係が大切だと思います。一人でも多くの方に声掛けをして頂きまして、経法大の歴史、伝統、文化を築いていくべきではないかと思っております。簡単ではありますが支部の報告とさせていただきます。

松井信司石川支部長



石川支部で支部長を務めています松井です。事業報告としまして昨年11月27日に支部総会を開催しました。支部総会に向けて、

本日の総会に参加しています山下副支部長のお力を借りて、石川県在住の多くの校友に直接電話で参加案内のアプローチをしました。今年の総会は10月か11月に開催する予定です。内容は現在検討中ですが、昨年の総会時には、「総会だけではなく、皆さんと親睦を育みたい」ということでゴルフコンペでも行おうじゃないか」という意見も出ていました。支部役員の意見を集め親睦を育める企画を準備したいと思っています。石川支部は、総会でも10人前後の集まりしかない支部ですが、気長に、校友の皆さんが総会に参加したいという気持ちになるような企画作りにも努力し、いつでも支部総会に出ていただけるような支部にしたいと思っております。今後とも大学事務局の皆様と校友会役員の皆様からのご支援をお願いいたします。

経済学部も2004年度より「ビジネス・コース」、「総合経済コース」、「エコノミストコース」の3つのコースを導入しました。各学部は、それぞれのコースに、コース責任者の教員を配置し、教育のより一層の改善と充実に努めております。

これらのコース制の現状を見ますと、法学部の「公務員コース」を始めとして、公務員を志望する学生の比重が非常に高くなっているのが特徴です。そのため、2004年度から、「公務員志望学生のための支援対策委員会」を設置し、志望を実現させるためのさまざまな支援対策を組織的に展開してきました。皆様ご存知のとおり、本学は正課授業とタイアップした課外学習の場としてのエクステンション・プログラムでこれまで多くの成果をあげておりますが、本年度からは、さらに正課授業そのものに、公務員試験の最初の関門となる教養・知能試験に対応する科目群を配置しました。それは、「文章理解」「判断推理」「数的推理」「資料解釈」などと言われる科目で、事務能力など個人のさまざまな物事に対する対応能力を測るものだとされており、予想以上の学生が受講を希望し、大きな手ごたえを感じております。

なお、2004年度の資格取得者は、法科大学院進学や社会保険労務士などを含め、2000年度のほぼ3倍にあたる398名を数えました。今後、さらに資格取得者の拡大に力を入れていきたいと考えております。

これに加えて、本年4月、1号館1階に「学習支援センター」を開設しました。同センターは履修相談を始め、学生のあらゆる問題に対する相談窓口の機能を果たし、相談内容によって、教務・学生・就職など関連部署との連携をはかっています。さらに、「学習支援センター」には常駐の職員だけでなく、専任教員が「学習支援センター・オフィスアワー」を設けて常駐しており、近年ニーズが増大している公務員や大学院志望者への適切なアドバイスを行うとともに、必要な場合には学習を補助する「ショートプログラム」を開設して、学生支援を行っています。

また、教育の国際化という面でも、これまでの英語圏と中国留学コースに加えて、来年度より韓国留学コースを立ち上げるべく現在試行中であり、さらに、すでに相当数の学生が体験しているインターンシップについても、諸先輩のご協力により、本年度より海外においても、中国での企業研修が可能となりました。

今後、大学はより一層、卒業生の皆様との緊密な連携のもとに、できる限りの社会貢献・地域貢献や社会との連携を深めたいと考えています。

最後に、大阪経済法科大学は、より一層特色ある高等教育機関として、21世紀に活躍する人材の育成を目指します。校友会の皆様には、今後とも、後輩たちのためにご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

懇親パーティー報告

2005年7月16日(土)に第7回大阪経済法科大学校友会総会終了後、“ホテルニューオータニ大阪”の「鳳凰の間」にて懇親パーティーが開催された。



WINDS(ウインズ)の平坂佳久(1980年度卒業)さんを進行役に抽選会がスタートした。会場のみならず注目しているのは、なんといっても抽選会の賞品である。中でも液晶テレビやDVDレコーダー等の豪華賞品があると聞いたときには、会場全体の盛り上がりが高潮になり、どうしても当てる賞品を持って帰りたいという卒業生、在学生、教職員の気持ちが一つになった。抽選で当選した人、また当選しなかった人がいたが、全員が当選した人に対して拍手を送り大抽選会を終了した。

三戸泰樹幹事(1993年度卒業)の司会進行のもと、まず沢勲副会長(学長補佐)から開会の挨拶がおこなわれ、続いて森喜代美教育後援会長から祝辞を頂いた。そして、栢田博昭広島支部長(1976年卒業)による乾杯の音頭で懇親パーティーがスタートした。

各テーブルでは、久々の再会ということもあり同級生同士の輪、先輩後輩の輪、卒業生と教員の輪など、あちらこちらで喜び合う和やかな懇談の光景が見られた。しばし歓談した後、在学生(文化会クラブ)たちのバンド演奏が始まり会場はとても盛り上がり演奏している在学生たちもヒートアップし演奏終了後、会場から盛大な拍手が響き渡った。

バンド演奏の盛り上がった余韻を残しつつ、今回の懇親パーティーでメインとも言える大抽選会が三戸泰樹幹事(1993年度卒業)と本学の卒業生で「和歌山 LOVE SONG」等のヒット曲で有名な



在学生のバンド演奏



卒業生、在校生、教職員全員で学歌を熱唱



在学生のバンド演奏

喜びを分かちあう時も、あっという間に過ぎていく中、最後に卒業生、在校生、教職員全員で学歌「われらが白き学舎に」を熱唱し懇親パーティーを締め括った。参加した校友たちは、また来年も会うことを約束しながら懇親パーティー会場を後にした。



開会の挨拶をされる沢勲副会長(学長補佐)



乾杯の音頭をとる栢田博昭広島支部長



WINDS(ウインズ)の平坂佳久さんを進行役に大抽選会が行われた。

教育後援会会長挨拶

ただいまご紹介いただきました、森でございます。

この一年間、教育後援会の会長として、微力ではございますが、在学生の学生生活の充実のため、また、大学の発展のため、つとめさせていただくことになりました。

今日は、校友会の第7回総会及び懇親パーティーにお招き頂き、感謝申し上げます。校友会が、約3万5千名の卒業生の熱望に応え、1999年6月に結成され、今日に至るまで、実に多彩な取り組みが行われてきたことと存じます。そして、これらの実践が卒業生の皆様の厚い支持を得ながら、親睦団体という枠組を越えて、年を重ねる毎に、その活動の範囲を着実に広げられ、OB・OG一人一人が、ご自身の能力を向上させるという目的意識を持たれ、そして集われているということをお伺いし、改めて、件会長様を始め、役員の皆様のご尽力に、心から敬意を表します。

さて、大阪経済法科大学教育後援会は、「大学の教育方針に則り、大学と家庭との連絡を密にし、教育事業の援助・会員相互の親睦を図ること」を目的とし、1983年に父母会として発足しました。本年度からは、教育後援会と名称を改め、活動を行っております。この間、学生の教育研究活動、課外活動への支援、経済的な理由で学費の支弁が困難な学生に対しての奨学事業、父母懇談会の開催時における特別講演会の開催、地方での父母懇談会の支援など、会員相互の親睦や交流のための事業も、地域社会とも連携をとりつつ、積極的に展開し続けてきました。



子ども全員にお菓子のプレゼント



このように、大学と家庭、さらには地域社会をつなぐ重要な役割を、教育後援会が担ってまいりましたが、在学生の教育文化環境の充実や、学業支援に大きな力となって来たものと自負するものであります。

大阪経済法科大学は、1971年に創立以来、約3万5千名の卒業生を社会に送り出され、数多くのOB・OGたちが各界各分野で活躍されておられると伺っております。

教育後援会といたしましては、大学と父母、大学と卒業生、卒業生と父母がともに、関係を緊密にして、大学の発展をともに願い、諸活動の充実をはかって参りたいと考えております。

在学生は、OB・OGの皆様を熱い視線で見つめています。将来の自分と重ね合わせて、見ているのだと思います。そのような意味でも在学生にとって、OB・OGの皆様のご活躍ほど、勇気と希望を与えられるものはございません。

校友会の皆様には、是非とも、国内、海外を問わず、各界各層でご活躍の卒業生の皆様から、在学生に対して、愛情、魅力溢れる機会のご提供をお願いしたいと思います。例えば、講演会や企業インターンシップ等でのご指導等の機会を頂戴できないものか、今後、そのような企画についてのご検討を切にお願い申し上げます。

最後に、大阪経済法科大学に学ぶ学生一人一人の将来が、より豊かなものとなること、卒業生の皆様の益々のご活躍、本日もご参集の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、大阪経済法科大学の益々の発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

2004年度校友会事業報告

2004年度校友会収支決算書

2004年4月 1日から
2005年3月31日まで

収入の部

(単 位:円)

項 目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 校友会費				
準会員	18,940,000	18,206,000	734,000	在学生
正会員	1,000,000	420,000	580,000	卒業生
特別会員	200,000	20,000	180,000	教職員等
2. 懇親会参加費	300,000	225,000	75,000	75名
3. 受取利息	100	48	52	
小計	20,440,100	18,871,048	1,569,052	
前年度繰越金	9,344,008	9,344,008	0	
収入の部合計	29,784,108	28,215,056	1,569,052	

支出の部

(単 位:円)

項 目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 総会				
総会等運営費	2,500,000	2,061,282	438,718	総会・表彰・懇親会等
報酬委託手数料	300,000	104,474	195,526	封入作業費・講演会、演奏会等企画費
印刷製本費	380,000	552,300	172,300	案内状(カラー刷り)等
旅費交通費	300,000	183,980	116,020	支部役員等出席旅費
2. 幹事会				
会談費	500,000	225,187	274,813	幹事会開催費用(年6回開催)
旅費交通費	200,000	211,350	11,360	支部役員等出席旅費
3. 支部活動支援				
会議費	900,000	583,609	316,391	支部総会開催費
旅費交通費	500,000	419,480	80,520	支部総会への出席旅費等
活動援助費	500,000	0	500,000	支部活動・運営・企画補助
4. 会報・広報				
印刷製本費	1,200,000	1,220,100	20,100	校友会報発行
通信費	2,000,000	1,903,116	96,884	校友会報発送費
報酬委託手数料	400,000	288,351	111,649	発送代行費
5. 学生支援				
奨学金費	4,800,000	4,320,000	480,000	18名
卒業生名簿	500,000	215,250	284,760	校友会紹介パンフ作成
卒業生祝賀会	1,000,000	855,000	145,000	設置・音響費含む
経法祭参画費	300,000	431,747	131,747	テント・企画運営費
学生活動援助費	1,000,000	577,500	422,500	学生企画・活動援助金
6. 共通・事務費				
印刷製本費	400,000	242,550	157,450	封筒等
消耗品費	400,000	178,120	221,880	会報送付用タックシール等
通信費	500,000	217,960	282,040	支部活動通信費等
報酬委託手数料	100,000	16,395	83,605	振込手数料等
人件費	1,200,000	0	1,200,000	事務局関係業務
渉外費	100,000	83,211	16,789	父母会役員との交流会
7. 10周年記念事業積立金繰入	5,000,000	5,000,000	0	
8. 予備費	2,000,000	1,890,000	110,000	カラオケ機器寄贈(学生支援)
小 計	26,980,000	21,780,972	5,199,028	
次年度繰越金	2,804,108	6,434,084	3,629,976	
支出の部合計	29,784,108	28,215,056	1,569,052	

1)第6回校友会総会・懇親会

2004年6月26日(土) ホテルニュー・オ・タニ
大阪で開催参加115名(内卒業生65名)

部 総会

・2003年度校友会事業報告及び収支決算報告

・2004年度事業計画及び収支予算書報告

・第3期校友会新幹事について

部 講演会

・講師：井川一久 氏

(本学アジア太平洋研究センター・客員教授)

・講演テーマ：「イラク戦争とベトナム戦争」

部 懇親パ・ティ

2)幹事会・常任幹事会・その他委員会

奨学金選考委員会

・開催日：2004年6月26日

・選考の結果、18名を採用

第23回校友会幹事会

・開催日：2004年7月31日

・父母会及び学生団体との連携強化についての審議

・第6回校友会総会実施結果と今後の課題についての審議

・2004年度校友会事業計画役割分担・支部担当事業計画(案)についての審議

・校友会経法祭参加企画についての審議

第24回校友会幹事会

・開催日：2004年10月2日

・経法祭参加企画の内容報告

・校友会支部活動支援についての審議

・校友会総会の日程の承認

・今後の校友会事業計画についての審議

第25回校友会幹事会

・開催日：2004年12月4日

・石川支部総会開催報告及び支部役員・幹事の承認

・高知支部役員会開催報告

・沖縄支部役員会開催日程の報告

・2005年度校友会総会準備についての審議

・今年度の事業計画の進捗状況についての報告

常任幹事会

・開催日：2005年3月12日

・懸案問題についての審議

・役員改選についての審議

・2005年度事業計画についての審議

・第7回校友会総会・懇親会開催についての審議

第26回校友会幹事会

・開催日：2005年3月12日

・2004年度校友会事業計画の進捗状況と中間決算についての審議

・2005年度校友会事業計画と予算概算についての審議

・校友会役員改選についての審議

・第7回校友会総会・懇親会開催についての審議

総会運営委員会

・開催日：2005年4月7日

・総会・懇親会内容の審議

常任幹事会

・開催日：2005年5月29日

・2004年度事業報告及び決算についての審議

・2005年度事業計画及び予算についての審議

・第4期役員人事についての審議

・第7回校友会総会実施要領についての審議

3)地域支部活動

1)第7回校友会総会・懇親パーティー

日 時 2005年7月16日(土) 16:00～20:30

場 所 ホテルニュー・オ・タニ大阪

懇親パーティー参加費 3,000円

<プログラム>

部 校友会総会

部 懇親パ・ティ

2)幹事会・常任幹事会・その他委員会

幹事会は年5回程度開催予定。常任幹事会は適宜開催。

幹事会の機能強化と役割分担の明確化。

3)支部組織支援

東京、福岡の再構築、他は継続性を保つ。関西で一つ新支部立ち上げ検討。職域支部の設立の検討。

支部活動企画運営補助を引き続き行う。

4)学生活動支援

校友会奨学金(優秀な資質を有しながら経済的理由により学業の継続が困難な学生に対し選考の上、月額2万円×12ヶ月の24万円を給付)

東 京 総会開催にむけて準備中

石 川 '04/11/27 支部総会開催

(新役員選出)

愛 知 '05/2/26支部役員会

岡 山 '05/2/26支部役員会

広 島 総会開催にむけ準備中

香 川 '04/8/21 支部総会開催

(新役員選出)

高 知 '04/11/27支部役員会

'05/1/29支部総会開催

(新役員選出)

福 岡 総会開催に向けて準備中

沖 縄 '04/12/18支部役員会、

'05/3/5支部総会(新役員選出)

4)校友会報 2004年5月30日に第9号発行

5)学生活動支援

校友会奨学金

'04/6/26 選考委員会

(18名の2004年度奨学生を採用)

経法祭参加企画

2005年度事業計画

経法祭参加企画

卒業生祝賀会支援

校友会ネ・ム入り学位記カバ・贈呈(卒業生全員に)<新規予算>

卒業生に対する校友会紹介パンフ作成

学生活動援助金

本学学生の自主的活動に対し援助金を支出する。

5)広報

校友会報第10号の発行

校友会ホ・ムペ・ジの充実(2005年度50万円を予算計上)

6)事務局の強化

職員1名を校友会事務局担当係とする。

事務局のアルバイト費として20万円を予算計上。

校友会専用電話回線の設置。(TEL/FAX 0729-41-8268)

7)10周年記念事業

10周年記念事業のための積立を引き続き行う。

'04/11/5 ウインズコンサ・ト・バンドコ

ンテスト支援

'04/11/6・7 コ・ヒ・とパンの店、バザ-

等、校友64名参加

卒業生祝賀会

校友会としてはじめて祝賀会を企画・運営

校友会紹介パンフ作成

卒業式当日に卒業生全員に配布。

学生支援

'05/2/17の学生3団体との協議を経て、カ

ラオケ機1セットを寄贈。

(予備費<学生支援等>予算から支出)

6)事務局の強化

職員1名を校友会事務局担当係とする。

7)10周年記念事業

10周年記念事業に向けた積立を開始。

8)その他

父母会との連携

'05/2/5父母会役員との懇談会開催。

(父母会4名、校友会5名、大学2名)

2005年度校友会収支予算書

2005年4月 1日から
2006年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1. 校友会費				
準会員	18,030,000	18,940,000	910,000	在学生
正会員	500,000	1,000,000	500,000	卒業生
特別会員	100,000	200,000	100,000	教職員等
2. 懇親会参加費	300,000	300,000	0	100名×3,000円=300,000円
3. 受取利息	100	100	0	
小計	18,930,100	20,440,100	1,510,000	
前年度繰越金	6,434,084	9,344,008	2,909,924	
収入の部合計	25,364,184	29,784,108	4,419,924	

支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1. 総会				
総会運営費	3,000,000	2,500,000	500,000	総会・懇親会等
報酬委託手数料	300,000	300,000	0	封入作業・発送代行費
印刷製本費	550,000	380,000	170,000	案内状(カラー刷)、出欠ハガキ、振込用紙
旅費交通費	300,000	300,000	0	支部役員等出席旅費
通信費	2,000,000	0	2,000,000	総合案内状等発送費
2. 幹事会				
会議費	300,000	500,000	200,000	幹事会開催費用
旅費交通費	300,000	200,000	100,000	支部役員等出席旅費
3. 支部活動支援				
会議費	900,000	900,000	0	支部総会開催援助費
旅費交通費	1,000,000	500,000	500,000	支部総会への出席旅費等
活動援助費	500,000	500,000	0	支部活動・運営・企画補助
4. 会報・広報				
印刷製本費	1,200,000	1,200,000	0	校友会会報発行
通信費	2,000,000	2,000,000	0	校友会発送費
報酬委託手数料	800,000	400,000	400,000	封入作業・発送代行費・HP制作費
5. 学生支援				
奨学金費	4,800,000	4,800,000	0	20名×2万円×12ヶ月
卒業記念品等	1,050,000	500,000	550,000	校友会紹介パンフ作成、学位記カバー贈呈
卒業祝賀会	1,000,000	1,000,000	0	
経法祭参画費	300,000	300,000	0	企画運営費
学生活動援助費	740,000	1,000,000	260,000	学生企画・活動援助金、カラオケランニングコスト等
6. 共通・事務費				
印刷製本費	400,000	400,000	0	封筒等
消耗品費	600,000	400,000	200,000	インクリボン、fax電話、PC等
通信費	500,000	500,000	0	支部活動通信費、事務電話通信費等
報酬委託手数料	150,000	100,000	50,000	振込手数料、電話敷設工事費等
人件費	200,000	1,200,000	1,000,000	事務局アルバイト費(総会資料作成等)
渉外費	100,000	100,000	0	
雑費	50,000	0	50,000	
7. 10周年記念事業関連立掛金	1,000,000	5,000,000	4,000,000	
8. 予備費	200,000	200,000	1,800,000	
小計	24,240,000	26,980,000	2,740,000	
次年度繰越金	1,124,184	2,804,108	1,679,924	
支出の部合計	25,364,184	29,784,108	4,419,924	

校友会ナウ



各都道府県の 校友会支部

東京支部 支部長 宮松 久浩
勤務先 伊藤忠ウインドウズ株式会社
関東営業所 所長
TEL03 - 5549 - 4451
E-mail:miyamatsu@itcw.co.jp

愛知支部 支部長 中町 守人
住所 〒547 - 0802
名古屋市南区要町5 - 86(有)中町印刷
TEL052 - 612 - 0120

石川支部 支部長 松井 信司
住所 〒902 - 0935
金沢市石引1 - 13 - 14
(携帯電話)090 - 8267 - 5172
E-mail:smatui@po3.nsknet.or.jp

岡山支部 支部長 津嶋 講一
住所 〒706 - 0224
玉野市八浜町大崎1843-1
(有)オレンジ薬局/代表取締役
勤務先 086-261-2266
TEL0863 - 51 - 3766(自宅)

香川支部 支部長 石塚 央
住所 〒763 - 0072
丸亀市山北町529 - 1
(携帯電話)090 - 5144 - 7096

高知支部 支部長 小橋 光生
住所 〒780 - 0064
高知市和泉町11 - 16

広島支部 支部長 栢田 博昭
住所 〒731 - 0137
広島市安佐南区山本8-13-12

福岡支部 支部長 力武 英登
勤務先 (株)不二越九州支店
TEL092 - 441 - 2505

沖縄支部 支部長 具志堅充彦
住所 〒904 - 2214
具志川市宇安慶名309
TEL098 - 972 - 3388

NOW

ご案内

第5回岡山支部総会

日時:2005年10月29日(土)
18:00~21:30

場所:「三光荘」
岡山県岡山市古京町1-7-36
TEL086(272)2271
(岡電バス「県庁前」下車徒歩2分
JR岡山駅よりタクシーで10分)

参加費:無料
当日の議事(予定)
18:00~19:20:支部総会
19:20~21:30:懇親会
21:30~ :有志による交流会

第5回香川支部総会報告

2004年8月21日(土)に、高松市内「喜代美山荘花樹海」にて、第5回香川支部総会が開催されました。午後6時より始まった総会及び懇親会には、夏休み期間を利用し帰省していた香川出身の在学生を含み、16名の校友が参加しました。総会の冒頭、石塚支部長の挨拶、伊奈健二経済学部教授(当時)の挨拶、出席者自己紹介があり、その後、議事に移っていきました。議事の審議では、香川支部規約の改正について審議承認され、支部役員体制を強化するために副支部長の定員が2名増加されました。引き続き、第3期香川支部役員の出選が行われ、新任2名を含め13名の役員が選出されました。

総会後に行われた懇親会は、高松市内を一望できる素晴らしい宴会場で、瀬戸内海に沈んでいく夕陽を浴びながらの交流となりました。今回の総会は、若い世代の参加者も増え、世代の広がりを感じさせるものとなりました。懇親会は、懐かしい話から今後のビジネスの話まで、参加者間で多に盛り上がり、お開きとなりました。



ホームページアドレス <http://www.keiho-u.ac.jp>

第3回愛知支部総会報告

2005年6月11日(土)、名鉄ニューグランドホテル(名古屋市内)において、第3回愛知支部総会が開催されました。総会では、中町支部長から挨拶が行われ、続いて伴井校友会会長から来賓の挨拶が行われました。今回の総会では、今後の愛知支部活動について支部役員改選について審議されました。今後の愛知支部の活動については、母校への見学ツアーの企画、学園祭への参加、母校で開講されている授業への参観などの意見が出されました。支部の役員改選については、現役員11名全員の留任と新役員1名の合計12名の第3期愛知支部役員が承認されました。

総会の後、記念撮影が行われ同ホテル内で懇親会が開催されました。今回の総会・懇親会へは、16名の校友が参加し親交を深めることが出来ました。



第5回沖縄支部総会報告

沖縄支部(1999年9月設立)の5回目の支部総会を2005年3月5日(土)に「美の花・国際道り店」にて開催されました。総会・懇親会には、

春休みを利用し帰省していた沖縄県出身の在学生5名を含み、20名が参加しました。総会では、まず岩村校友会常任幹事(法学部教授)の挨拶、勝部校友会副会長の挨拶、具志堅支部長の挨拶、出席者の自己紹介が行われた後、議事に移っていきました。今回の総会は、役員改選期にあたり、新任2名を含め10名の役員が選出されました。

また、沖縄支部の事務局を置き支部役員2名が事務局を担当し、支部活動強化を図っていくことが承認されました。総会後に行われた懇親会では、和やかな雰囲気の中、校友の親睦を深めることができ、有意義な総会となりました。

総会後には、和やかな雰囲気での懇親会が行われ、卒業生の近況報告や思い出話を交えながら、今後より一層の校友会事業の発展を願い、校友の親睦を深めました。

第2回高知支部総会報告

第2回高知支部総会が、2005年1月29日(土)17時30分より高知新阪急ホテルで開催されました。総会には23名の校友が出席し盛会となりました。総会では、最初に出席者から自己紹介が行われた後、小橋支部長から「2年前に支部を立上げ、2年間のブランクがあったが、本日第2回の総会が開催された。校友会高知支部は、横のつながりを

第一の目的にしている。校友会支部において各校友が横のつながりを活用し、各自にとって有意義な支部になることを願っている。」との挨拶が行われました。引き続き、本母校校友会総会や各地域校友会活動の紹介、今後の支部活動についての意見交換が行われました。そして最後に役員改選が行われ、現役員全員留任と新役員1名(28期生)が承認されました。総会終了後は、懇親会が行われ校友間の交流を深めるなど有意義な総会となりました。

石川支部(2000年9月結成)の第3回支部総会は、昨年11月27日(土)午後6時よりKKRホテル金沢(出席者12名)で行われました。まず、松井支部長及び安田校友会副会長より開会の挨拶がなされました。続いて事務局より事業報告・収支予算等の報告及び2004年度事業計画などの報告が行われました。

今回の支部総会の議事としては、今後の支部活動について支部役員改選などを行いました。支部活動については、支部組織の強化や情報発信、各種行事の企画などについて意見交換をし、今後の支部組織の活性化に向けて取り組んでいくことを確認しました。また、支部役員改選については、松井支部長以下支部役員4名を承認するとともに、新たに支部幹事5名を選出(計9名)しました。

総会後には、和やかな雰囲気での懇親会が行われ、卒業生の近況報告や思い出話を交えながら、今後より一層の校友会事業の発展を願い、校友の親睦を深めました。

懇親会では、和やかな雰囲気の中、校友の親睦を深めることができ、有意義な総会となりました。



1. 幹事会報告



第29回幹事会の模様

第27回(2005年度第1回幹事会)
 日時：2005年6月4日(土)16時
 場所：I.S.D布施(留学生寮)2階会議室
 議題：2004年度校友会事業報告(案)及び収支決算書(案)について
 第4期校友会幹事の選出について

審議の概要：第27回幹事会では、2004年度校友会事業報告(案)と収支決算書(案)について審議され、承認されました。引き続き、第3期校友会幹事の任期満了に伴い、第4期校友会幹事について審議され新幹事が選出されました。

第28回(2005年度第2回幹事会)
 日時：2005年6月4日(土)16時50分
 場所：I.S.D布施(留学生寮)2階会議室
 議題：第4期校友会役員選出について

2005年度事業計画(案)及び収支予算書(案)について
 第7回校友会総会及び懇親会開催要領(案)について
審議の概要：第28回幹事会は、第27回幹事会で選出された新幹事メンバーにより開催されました。審議の冒頭、「校友会役員選出方法に関する申合せ」

(1999年6月26日総会承認)に基づき、会長、副会長、常任幹事が幹事の互選により、選出されました。引き続き、2005年度事業計画(案)及び収支予算書(案)第7回校友会総会及び懇親会開催要領(案)について審議され、承認されました。

第29回(2005年度第3回幹事会)
 日時：2005年7月16日(土)1時30分
 場所：ホテルニューオータニ大阪B1カトリアの間
 議題：第7回校友会総会・懇親会について

愛知支部総会の報告について
 幹事会の機能強化について
審議の概要：第29回幹事会は、第7回校友会総会開催日当日に開催されました。審議では、幹事会後に行われる総会及び懇親会の内容及び役割分担の最終チェックを念入りに行いました。引き続き、6月11日に開催された第3回愛知支部総会の報告が行われました。審議の最後には、校友会事業の充実に向けて、幹事会機能強化についての意見交換が行われました。主な議論は、校友会事業計画の立案力と計画執行力をいかに高めるか、そのための各幹事の役割を明確にする

というものです。具体的には、幹事会機能の強化のために組織部会、企画部会、広報部会等の専門部会を設置し、幹事全員が専門部会での役割を担っていくという議論になりました。詳細は、次回の幹事会で議論し決定することになりました。

第30回(2005年度第4回)
 日時：2005年8月6日(土)16時
 場所：I.S.D布施(留学生寮)2階会議室
 議題：第7回校友会総会実施結果について
 幹事会の機能強化(2005年度)について
 校友会報第10号の発刊について
 経法祭参加企画について

審議の概要：第7回総会開催後、初めて開かれた第30回幹事会では、総会の実施結果に関する詳細な報告が行われ、次回総会に向けての意見交換が行われました。引き続き、前回幹事会で審議された幹事会の機能強化について継続意見交換され、専門部会として、組織部会、企画部会、広報部会、10周年事業部会を設置することが確認されました。合わせて、全国に設立されている九つの地域支部と幹事会との連携・協力関係を強化するために各地域支部担当者が確認されました。その他、校友会報第10号発刊内容が確認され、経法祭参加企画については、各地域支部からの参加を含めて、企画検討することになりました。

2. 第4期校友会役員

顧問	(新任) 藤本和貴夫	学長
会長	伴井敬司	1期生
副会長	安田公治 勝部恒夫 沢 勲	2期生 5期生 学長補佐

常任幹事	阪本 誠	4期生
(新任)	八瀬林 肇	6期生
	北垣義弘	7期生
	斉藤公晴	9期生
(新任)	中津広志	13期生
	柴田 剛	14期生
	徳原祥隆	事務局長
	岩村 等	学生部長
	丸井龍夫	事務局長補佐
	西澤十三夫	学生部次長
(新任)	山中雅登	庶務課長
(新任)	金谷成哲	学生課長

幹事	橋本 堅	1期生
(新任)	石神利一	4期生
	山田忠宏	4期生
	前吉克明	8期生
	政宗正章	8期生
	濱田剛史	13期生
	溝上容子	13期生
	加藤真司	17期生
(新任)	直田明剛	17期生
	宮本英浩	17期生
	山下博将	19期生
	三戸泰樹	20期生
(新任)	濑田博之	20期生
	出口 寛	23期生
(新任)	高岡 恵 (旧姓 岡本)	24期生
(新任)	石山陽浩	25期生
(新任)	前澤亜紀	27期生
(新任)	森治直利	28期生
(新任)	本澤慎司	31期生
(新任)	吉田隆顕	31期生
(新任)	比山節男	法学部教授
(新任)	山本広太郎	経済学部教授
	勝 英雄	教養部教授
(新任)	春山利夫	事務局次長
	竹谷育久	財務部長
	里村 茂	就職課長
	伊奈健二	経済学部客員教授
	福本憲男	法学研究所客員教授
(新任)	高岡幸一	就職課長補佐
(新任)	金城栄昌	学生課課長補佐

新幹事	折田博昭	3期生(広島支部支部長)
	具志堅充彦	8期生(沖縄支部支部長)
	中町守人	1期生(愛知支部支部長)
	石塚 央	8期生(香川支部支部長)
	津嶋謙一	4期生(岡山支部支部長)
	松井信司	6期生(石川支部支部長)
	宮松久浩	9期生(東京支部支部長)
	力武英登	7期生(福岡支部支部長)
	小橋光生	1期生(高知支部支部長)

会計監査	鍛冶屋佳美	5期生
(新任)	福井和夫	6期生

3. 学歌 学歌「われらが白き学舎に」を歌おう!

一 君に会えてよかった
 生駒の緑萌え 花の香る地球を
 胸に刻む季節 道は遠く遠く
 希望(のぞみ)はるか彼方
 されどわれらが白き学舎に
 生きる力たくわえつつ
 大阪経法大 あゝ 経法大

二 君の厚き友情 信貫の山に似て
 春は青くさやかに 秋は紅く染まる
 時代こえてこえて 理想めざす心
 今はわれらが白き学舎に
 愛と誠育みつ
 大阪経法大 あゝ 経法大

三 君の潔き悩みを 生駒に洗う朝
 君の深き喜び 風に語る夕べ
 共にいつかいつか 強く生きる為に
 明日もわれらが白き学舎に
 青春の血わきたてつつ
 大阪経法大 あゝ 経法大

4. 校友会事務局直通電話設置

校友会事務局直通電話が設置されました。ご意見・お問い合わせがありましたら、遠慮なくお電話ください。事務局担当職員が懇切丁寧にお答えさせていただきます。
 電話番号(FAX兼用)
0729-41-8268

5. 校友会費に関するQ&A

Q「校友会費20,000円は年会費ですか?」
 A 校友会費20,000円は、年会費ではなく終身会費です。
 1度会費を納めれば以後会費納入の必要はありません。
 注:2001年以降の入学生(編入生を除く)については、在学中に校友会費を委託徴収させていただいておりますので、会費納入の必要はありません。また、2003年度以降に入学した編入生については、卒業後に、委託徴収金の残額の1万円を納入する必要があります。

本学の学歌「われらが白き学舎に」が第一興商の通信カラオケDAMに収録されています。カラオケに行く機会があれば索引で校歌を検索し、一度学歌を歌ってみてください。きっと学生時代の懐かしい思い出が蘇ってくるでしょう。

大阪経済法科大学ホームページ <http://www.keiho-u.ac.jp/> からダウンロードできます。(MP3 ファイル)
 再生するためにはmp3形式に対応したオーディオプレーヤーが必要です。

経法祭参加企画案内

2005年経法祭開催

今年も在学生のイベント「経法祭」が11月4日(金)~6日(日)の三日間の日程で開催されます。(*但し、4日は前夜祭)
 校友会は昨年に続き、卒業生が懐かしいキャンパスに集い交流を深めることができる企画を準備中です。詳細が決まりましたらホームページに掲載(10月中旬予定)しますので是非ご覧ください。家族連れ、友人を誘って、母校に遊びに来てください。
 校友会ホームページへは、大阪経済法科大学ホームページのトップページ「卒業生の方へ」からお入りください。

昨年「経法祭」には、多数の卒業生が参加

昨年は、校友会専用のテントを準備し、「卒業生のお店」を出店しました。「香り高いコーヒーと美味しいパン」を売り物にした「卒業生のお店」は好評で、パンを追加で2回焼き上げるなど大繁盛でした。また、「卒業生のお店」には、ホームページの案内を見た卒業生が多数駆けつけてくれました。懐かしい顔ぶれ、初めてお会いする人など、テントの横では、いつの間にか卒業生が集まり、特設の「居酒屋」ができ、交流を深めました。



大学の近況

第31回卒業式を挙 - 717名が社会へ旅立つ -



本学第31回卒業式が3月18日(金)午前11時より本学総合体育館『尚淑館』において挙行された。各界からの来賓、父母、在学生など多くの方々の祝福のもと、経済学部398名、法学部319名、計717名の卒業生が晴れて社会へと旅立った。

式典では、冒頭、出席者全員で学歌「われらが白き学舎に」を斉唱した後、藤田整学長より経済学部卒業生を代表して金美善さん、法学部卒業生を代表として加々良昇和さんに学位記が授与され、卒業生への激励の言葉が述べられた。続いて大阪経済法科大学校友会の伴井敬司会長から祝辞をいただいた後、「学長賞」「学部長賞」「スポーツ敢闘賞」「文化活動特別賞」の授与が行われた。

各賞授与の後、卒業生を代表して高館哲郎さんが挨拶を行い、「4年間、大学で学んだ知識や経験をこれからの人生に役立てたい」と社会で活躍していく決意を語ってくれた。最後に全体で「蛍の光」を斉唱し、卒業式は厳粛な雰囲気の中で閉式となった。

卒業式の後には、演習別の教室に分かれて学位記が授与され、学生生活を共にしたゼミ生仲間や担当教員とともに、卒業の喜びを分かち合った。

4月3日(日)2005年度 第35回入学式を挙

4月3日(日)、総合体育館『尚淑館』で2005年度第35回入学式が挙行され、経済学部472名、法学部503名、編入生14名の合計989名の新生たちが晴れて入

学の日を迎えた。式当日はあいにくの雨模様にもかかわらず、数多くの新生、ご父母および来賓の方々が入学式に足を運ばれた。

入学式では、最初に経済学部生の森田圭祐さん、法学部生の岡村里絵子さんがそれぞれ新生を代表して宣誓を行った。続いて、藤本和貴夫学長から祝辞、岩崎健二八尾市助役から祝辞が述べられた。また各学部長および教養部長の紹介が行われた後、在学生を代表して学友会執行委員長の大谷元氣さんが新生に歓迎のことばを送った。最後は、開式前に練習したばかりの学歌「われらが白き学舎に」を全体で斉唱し、入学式を閉式した。

入学式終了後は、雨も上がり時折雲間から青空ものぞく中、多くの新生が在学生による新生歓迎イベントに参加し、各種ゲーム大会やイベントなどを楽しんだ。



新生父母教育懇談会、 経済学部・法学部で 合計約650名が参加

入学式終了後、午前11時15分から新生父母教育懇談会が5号館の5100号室・5200号室で開催された。懇談会には、経済学部・法学部、合わせて約650名のご父母の方々に参加された。

新生父母教育懇談会は、入学式に参席される新生のご父母を対象に、本学の教育システムや教育後援会事業の説明などを行うことを目的として実施されてきた。今回は、入学式が日曜日に挙行されたこともあって、遠方からも多くの方々にお越しいただくことができた。

学部別に会場を分けて行われた教育懇談会では、能塚経済学部長、村下法学部長の挨拶に続いて前堀教育後援会会長の挨拶が行われ、大学と父母が協力していくことの必



要性が強調された。懇談会では、教育説明会として教育システムの説明、教員紹介、就職サポートの説明などが行われた。父母の方からは「今後の学生生活についての不安が軽減した」「在学中のカリキュラム、就職に向けてのバックアップシステムがしっかりしているので大きな希望が生まれました」など様々な意見を聞くことができた。

新生 オリエンテーション セミナー(OS)を開催

2005年度新生オリエンテーションセミナーが、4月4日(月)～9日(土)の6日間にわたって開催された。

一日目<4月4日(月)>は、OS全体会として経済学部・法学部の新生履修ガイダンス、学生生活オリエンテーション、本学の特色ある教育システムや有意義な勉学生生活を保障するための基本知識・ルールなどの周知を目的として実施された。

二日目以降<4月5日(火)～9日(土)>のOSでは、入門演習の第1回目の授業として、クラスごとにミーティングを実施し、時間割の作成や大学での学修方法などについて説明が行われた。その後、学生団体による歓迎イベント(クラス対抗戦など)や大学の麓にある心合寺山古墳見学などを通じて、新生相互の親睦・交流が図られた。また、法学部入門実習クラスの3クラスが大阪地方検察庁への見学を実施した。

今回のOSは、学生スタッフの協力により、新生のみなさんに一日でも早く大学の学生生活に慣れていただけるような、幅広いプログラムが準備された。

「学生ボランティア ・パトロール隊」が、 八尾市教育委員会より 表彰



3月10日(木)、本学「学生ボランティア・パトロール隊」が、八尾市教育委員会から表彰を受けた。本学学生を代表して増田

祥明(法学部4年生・04年度卒)さんが、森卓八尾市教育長より感謝状を受け取った。

「学生ボランティア・パトロール隊」は、昨年12月21日、八尾市教育委員会と本学のクラブ学生が協力して、地元の児童・生徒の安全確保のために結成された。

当時は、奈良県の子供誘拐事件が発生し、八尾市でも児童や小中学生への犯罪未遂などが相次いでいた最中、小学校、PTAを中心に児童、小中学生への防犯や安全対策が喫緊の課題となっていた。そこで、日頃、本学クラブ生がトレーニングの一環として行っている大学周辺のランニングのことを知った市教育委員が、ランニングコースを八尾市立中高安小学校(約3キロメートル)方面へ変更し、その間にある小学校や中学校の下校時間帯に合わせた、防犯パトロールを兼ねたランニングをしてほしいかとの要請があった。本学のアメフト、サッカー、陸上、ラグビー、ソフトボール、空手道部などの体育会クラブ生たちだけではなく、学友会執行

委員会や文化会本部の学生たちもこの提案に賛同し、地域ボランティア・パトロール活動が開始された。

小学校の2学期終業式の日から、3学期始業式から終業式までの3ヶ月間、延べ約250名の学生たちがパトロール活動に参加し、子ども達の安全を確保することに努めた。

中高安小学校校長から「今回のパトロールの実施により、子どもの安全確保ができたことに感謝しています」とお礼の言葉を頂いた。

また、参加したクラブ学生達も「子ども達に声をかけることだけでも、犯罪から子どもを守るようになったことをうれしく思います。地域に対する意識も変わりました」と感想を述べた。

なお、3月24日(木)八尾市立小学校の終業式を最後に、本学「学生ボランティアパトロール隊」は、地域の子ども見守りパトロール任務を無事終えることができた。

2005年度オープンキャンパス開催



本学では、大学の魅力を広く高校生、受験生に知ってもらうために今年もオープンキャンパスを開催した。

7月31日(日)は、24時間チャリティーマラソンで見事100kmを完走した、あの丸山弁護士が昨年に引き続き登場。「法は人生の力強い味方だ!」と題した講演会が開催され、多数の参加者に感動と勇気を与えてくれた。

講演会では、時事問題などを素材に「法律とは何か」という事を分かりやすく説明。ほかにも弁護士という仕事のやり甲斐についてや、テレビ番組や間近に迫ったチャリティーマラソンに向けての練習の舞台裏のお話など、様々な話題が飛び出した。中でも印象的だったのは、職業としての弁護士の可能性についてのお話。「弁護士という仕事は、安定した収入を得られる、というだけでなく、人の役に立ち、困っている人を助けることができ、どんな場



所や環境でも求められる職業。都市部で働くだけでなく、「無医村」(過疎地などで、医師が地域に一人もいない状態)のように弁護士が一人もいない地域に赴き、そのエリアの法的問題をすべてサポートしていくこともできる。ニーズは高まる一方なので、様々な可能性を秘めた職業です」といった趣旨のお話には、受験生や保護者はもちろん、本学関係者も深く納得した。



合計3回(4日間)開催されたオープンキャンパスには、関西を中心に仙台、山形、沖縄など、全国各地から多くの方々に参加していただき、キャンパスツアー、学長による大学紹介、経済学部・法学部カリキュラム紹介、公務員・警察官として活躍する本学OB講演会、模擬授業など、様々な企画を通じて大阪経済法科大学を知っていただくことができた。

2005年度大学事業計画報告

2005年度大学事業計画が 大学会議審議を経て理事会で決定

本学では、大学の主な財源である学生生徒等納付金を、全て、教育研究の充実と大学の発展に向けて、より有効に活用するため大学予算制度を導入しています。予算規模は約50億円で、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出等に充当されています。

教学内容の整備、各種資格試験講座の充実、学生サービス向上、学生のキャリア開発、国際化・情報化推進等の重要課題に予算の重点的配分を行うとともに、諸経費の節減に取り組んでいます。

2005年度大学事業計画の概要

経済学と法学を中核とし、多様・多彩な学生に対応した魅力あふれる教育を創造します

法学部や経済学部におけるコース制を一層充実し、モデル別履修例の提示や新規科目の開講等、多彩な教育内容を提供します。各学部でコース責任者を配置し、4年間一貫した学士課程教育の創造に努めます。

また、コースや習熟度に対応したクラス編成を行い、時間割編成を整備し、集中講義や特別講義を充実するなど、多様・多彩な学生に対応したカリキュラムの開発を推進します。授業要綱(電子シラバス)の充実や授業評価アンケート等を活用し、全教員が「魅力ある授業」の創出に取り組めます。

正課授業の充実を図り、特修・資格講座との連携を一層強化し、資格合格者の増加を目指します

正課授業をより一層充実させるとともに、特修講座・資格講座との連携を緊密にし、講座内容を整備します。

法職講座は、法学検定講座の新規開講により、法科大学院等の法曹コースと連携し内容を充実させます。会計職講座は、経済学部ビジネスコースの「簿記実践」等との連携により簿記検定等の合格者数の拡大を目指します。

また、公務員志望学生への支援をさらに充実させます。法学部公務員コースと連携し、公務員採用試験の教養試験科目が正課の授業として新規開設されます。1年次からの



4年間一貫した学習支援体制を一層整備します。さらに、エクステンションセンターでは、正課授業での公務員試験対策との連携をさらに強め、1年次から受講できる講座開設を増やすなど、公務員志望学生への個別相談やガイダンスの充実を積極的に推進しています。

国際化時代、IT社会において活躍する人材を育てる教育システムを構築します

「東アジアの未来図 対立から競生へ」をテーマに、日中韓3カ国の参加により国際大学交流セミナーを開催するとともに、「中国等体験プログラム」や「協定留学プログラム」に加え、新たに海外インターンシップの取り組みも開始します。

また、「教育の情報化」に向けた環境を整備するため、ギガビットイーサネットへの移行や、Webの充実、学生ポータルサイトの試験的導入、教室で使用する視聴覚機器の整備等を行います。

「学習支援センター」を設置し、学修支援を強化します

目標を持って、4年間、学生生活を過ごせるように、学業と学生生活の両面で支援するために「学習支援センター」を設置します。

また、入学前教育・導入教育を再整備し、教員とサポートスタッフが共同で学生の学修支援に取り組み、各自の個性と学習意欲に応じた教育をめざします。導入教育から将来の進路に対応したコース別専門教育へと導く、きめ細かな学修支援を実施します。

希望する進路の実現に向けた、総合的キャリア支援を強化します

入学時から卒業までのキャリア開発を引き続き強化します。キャリア教育を各学部のコースカリキュラム上に位置づけ、「職業

的専門教育」を支援します。

また、インターンシップの教育効果を高め、質的・量的な充実を図ります。Webを活用することによって、就職情報の提供や活用等を強化し、学生の就職を力強くサポートします。

施設・設備をより一層充実し、快適な学生生活をサポートします

快適な学生生活をサポートするために、図書館開架スペースの整備、5号館の一部トイレ改修、ケヤキ広場の整備等のキャンパスの充実およびスクールバスの買換え等、施設・設備のさらなる充実を図ります。

法科大学院合格!!

2005年2月に実施された、近畿大学法科大学院入試B日程で、平田尚正(法学部4回生・04年度卒)さんが、法科大学院未修者コースに合格されました。

本学のSコース・法職講座では、2004年度より法科大学院入試対策講座を開講し、学費免除や奨学金制度などの充実を図ってきました。平田さんは、この講座を受講し見事、法科大学院進学を果たすとともに合格奨学金として100万円の給付を受けました。これからも法科大学院をめざす学生の皆さんのためにサポート体制を充実させ、多くの合格者を輩出したいと考えています。

2005年度 入学試験結果報告

2005年度入学試験では、18歳人口が前年より5万人減少する中で大学数が更に増加し、大学間競争が激化する中であっても、推薦試験では志願者数が2032名と、36.3%増加し、一般試験においても、志願者2000名と2004年度の志願者数1910名から4.7%増加、総志願者数においても4032名(2004年度3401名、留学生・社会人・編入学試験を除く)、18.6%の増加という好結果を収めることができた。

そのため、競争倍率は、一般A試験で経済学部3.16倍、法学部4.89倍、一般B試験で経済学部2.01倍、法学部3.50倍、一般C試験で経済学部2.23倍、法学部4.78倍となった。

これらは、将来の進路にあわせたコース制カリキュラムやSコースを中心とした学習バックアップ体制など本学の教育内容が高く評価された結果であると言えます。今後とも更なる教育体制の充実を図っていくことが重要である。

メンター制度

学生一人ひとりのニーズを敏感に捉え学生の活力を引き出す



近年、多種多様な意識を持った学生が大学へ進学するようになり、年々大学へのニーズも多様化しています。そのような環境の中で、4年間という貴重な時間を有意義に過ごせるよう、学習・教育支援活動の充実が求められています。

今回の特集では、本学で試験的に実施しているメンター制度を中心に、教員や学生の声を聞きながら充実した学習支援を紹介していきます。

先輩学生による 後輩学生のための サポート

経済学部 深瀬 澄 助教授

本学では本年度から学習支援センターが設立され、さらにメンター制度が試験的に実施されています。メンターとは、相談相手、指導者といった意味で、先輩学生が後輩の学習に対して自分の経験などから相談のり、助言を与え、後輩の成長を支援するという制度です。この制度は、授業を受ける学生のみならず、教員にもメンターの学生自身にも有意義なことなので、効率的に活用していきたいものです。教員にとっては、新しいアイデアを出して挑戦していかなければならないと考えています。

まず、受講学生について考えると、メンター制度が本格的に機能すれば、授業内容の理解度が劇的に深められるはずであり、本学から各種資格取得、大学院進学、国家公務員採用などの試験合格者が大量に増加するようになるのではないかと期待しています。医療機関で良い治療をするには医師の水準の高さだけではなく、患者の細かいケアをする看護師の支援体制が大きな役割を果たしています。同様のことは、教育の現場にも当てはまり、学

生への支援体制は、授業内容の消化不良を改善し、理解を助けるという意味で重要であると思われます。

教員についても、メンター制度の導入により、教育方法の可能性が広がるでしょう。私が特に期待するのは、ゼミ運営の支援です。テーマは多種多様ですが、ゼミで学ぶ内容は、読む、調べる、考える、書く、話すということです。これらのことは、教員が論文を書き、学会で報告しコメントするといった日常の研究活動において行っていることで、最も得意とするところなのですが、指導方法が難しく悩むところなのです。

今のゼミでは最初に学習の手順を詳しく説明しますが、学生はなかなかイメージをつかんでくれないことがあります。そこで、手本となる具体例を見せたいと思うのですが、自分の専門分野の研究を紹介したのでは、はじめてゼミを体験する学生には、レベルが違い過ぎて、拒絶反応をおこしてしまいます。そこで、先輩であるメンター学生にゼミの成果を披露してもらい、等身大に近い具体例を示すことができれば、学生もやってみようという気になり、ゼミの学習効果が格段に改善させるのではないかと期待しています。

次に、メンターを体験することの意義について考えましょう。メンターの学生は、大学の勉強を教える側からみることで、理解が深まるばかりでなく、リーダーシップも身に付くと思

